

第2節 魅力ある就業環境

1. 豊かな暮らし、魅力と活力のあるまちづくり

(1) 農林水産関係事業の振興

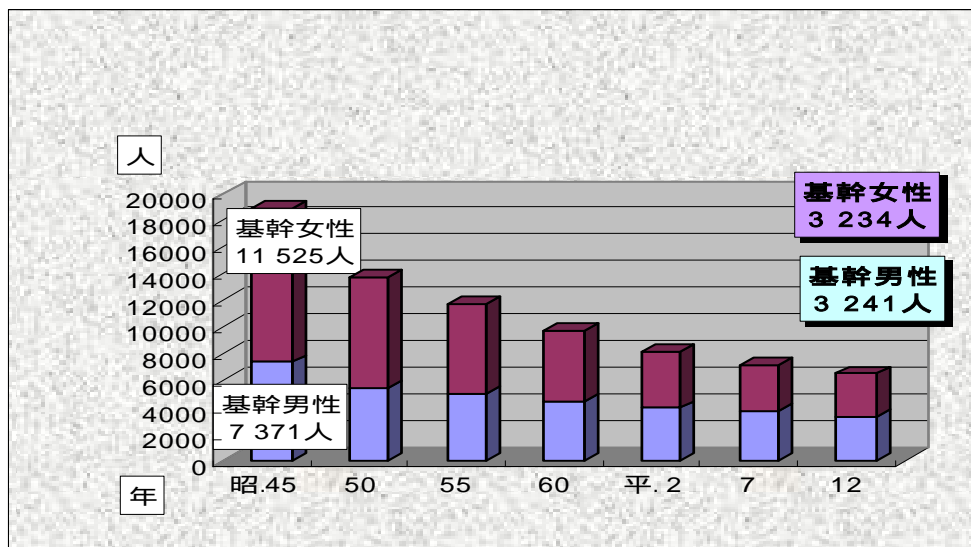
農業の振興

【現 状】

佐渡の農業は、基幹産業として重要な位置付けにあります。「佐渡米」は国中平野を中心とし、一方、中山間地域ではトキの野生復帰に向け、環境に優しい米作りが行われています。全島で栽培が行われている「おけさ柿」、海岸台地を中心にした「佐渡牛」、りんご、イチゴ、洋梨、いちじくなど特産品目の取り組みや、ふれあい市などの直売活動を通じての地産地消、あんぼ柿など加工品や女性グループの起業活動も盛んです。

しかし、総産出額は米を中心に近年急激に落ち込んでいます。これには、外的要因として米の消費低迷や農産物価格の長期下落傾向、島内においては農家数の減少と高齢化、耕地面積の減少や耕作放棄地の増加など多くの要因があります。

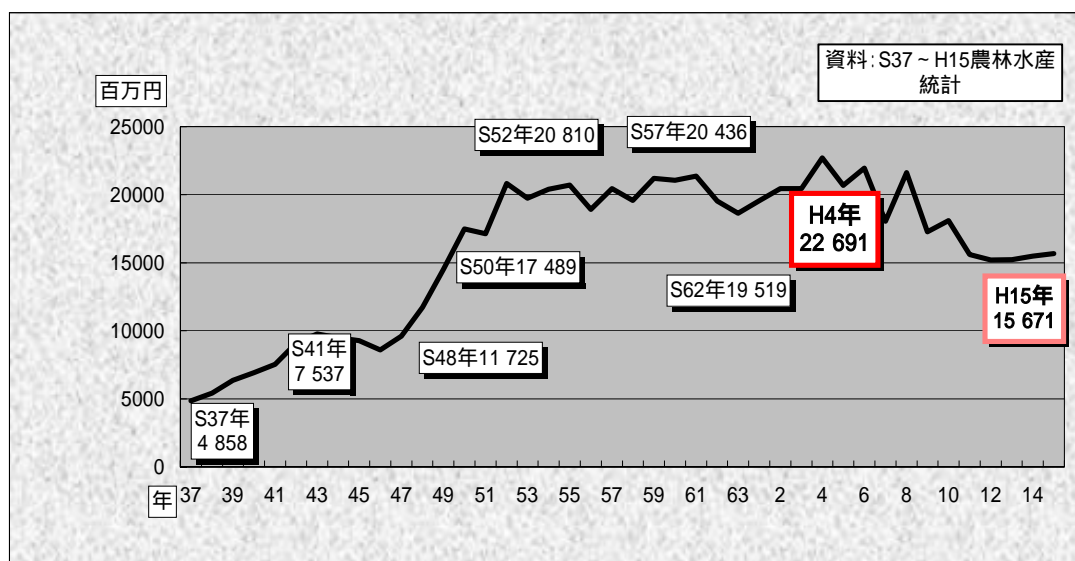
島内の基幹的農業従事者の推移 【資料：S45～H12 農林業センサス】



島内の耕地面積の推移【資料：H2～H12 農林業センサス】(単位：ha)

区 分	田	畑		
		普通畑	樹園地	牧草地
平成 2 年	10,300	1,130	690	215
平成 7 年	10,000	1,120	718	144
平成 12 年	9,830	1,110	693	144

島内の主要作物の推移



内訳

(単位: 百万円)

年次	合計	米	豆類	野菜	果実	花き	工芸農作物	種苗その他	肉用牛	乳用牛	加工農産物	その他
平成8年	21,610	15,930	165	792	2,291	83	480	493	455	441	121	359
平成15年	15,671	11,683	143	852	1,461	68	245	225	245	398	134	217

【課題】

基幹的農業従事者数の減少の中での担い手の育成
 耕地面積の減少に対する生産構造対策
 主要作物の生産振興
 環境保全型農業の推進

【振興方針】

基幹的農業従事者数の減少の中での担い手の育成

地域農業の将来を担う担い手については、圃場整備が進んで高生産性農業が可能な地域は大規模経営体を確保・育成し、農業経営の法人化を推進します。柿など園芸の産地化が定着している地域や畜産振興が図られている地域では、高収益な複合経営体の育成・確保を図ります。

また、農業を支える意思が明確な農業者を、地域合意に基づく認定農業者に積極的に位置付け、地域ぐるみで育成を図ることと、併せて、女性・高齢者との役割分担や、労働力補完体制の構築を図り、集落営農の生産システムを確立します。

耕地面積の減少に対する生産構造対策

土地の有効活用を進めるため、米の生産調整対策や、高齢化などによる耕作放棄地対策の構築を図ります。また、国営・県営総合土地改良事業、県営圃場整備事業等の活用による土地生産基盤の確立を推進します。

- ・土地基盤の整備による農地流動化の促進と、農業用排水の整備による農業生産活動の可能性を拡大します。(水田の汎用化、畑作物の生産安定、品質向上)
- ・生産基盤整備と一体的な生活環境整備を行い、快適な田園居住空間を創造します。また、農業と観光の連携を図る観点から、グリーン・ツーリズムなど交流人口の拡大を図ります。

主要作物の生産振興

佐渡米やおけさ柿等の果樹、佐渡牛などブランド農畜産物の高品質・高付加価値、低コスト生産と、地産地消の理念にたち、ふれあい市や学校給食、観光関連産業等との佐渡産食材の積極的な活用を図り園芸品目等の拡大を図ります。

また、女性グループ等が行う農産物の加工や直売等の企業活動を支援します。

環境保全型農業の推進

トキの野生復帰に合わせて、自然に優しい循環型社会を目指し、また、安全・安心を求める消費者ニーズの高まりに応じた環境保全型農業を推進します。

- ・消費者との連携による環境保全型農業の積極的推進
- ・環境保全型農業推進組織の活動支援



小学生の農業体験

林業の振興

【現 状】

林業関係においては、高齢化により就労者の減少が急速に進み、良質な木材生産に最も重要な間伐施業適期となった山が手入れされないまま放置されています。一方で、佐渡全域に広がった松くい虫被害跡地林は手を入れられずに放置されたため雑木に覆われていて、かつての豊かな佐渡の緑は減少しています。

また、佐渡産材は生産・加工・流通体制の整備が遅れていることから、島外産材に押されて島内ではほとんど利用されることなく、伐採適期を過ぎても山に残っているのが実情です。

林産物では、特に椎茸生産高は高齢化・就労者不足・生産に適した大きさのほだ木の調達が困難等の理由で、最盛期に比べて1 / 4 にまで減少しています。

今後、林業の振興は、木材の供給・水源のかん養・国土の保全等本来の目的のほか、地球温暖化対策の面からもきわめて重要な課題であり、林業の視点以外での総合的な振興策が必要となっています。

【課題】

林業就労者の確保
整備森林の拡大・佐渡産材の活用
林産物の生産向上
多様な森林効果の啓発

【振興方針】

林業就労者の確保

森林組合を中心に後継者の育成を図るとともに、健全な森林整備を目指し、作業員の技術の向上を図ります。また、若年層を対象とした体験学習活動を開催し森林に対する意識の啓発を図ります。

整備森林の拡大・佐渡産材の活用

適正に管理された林を展示林として公開し、除・間伐施業効果の確認をとおして、森林整備の啓発を図ります。また、佐渡産材の島内利活用を活性化するため、各種林業関係団体と連携して、地元産材の流通体制を確立します。



適正に管理された林の展示林（枝打ちのされた杉林）

林産物の生産向上

椎茸生産において、県内一の優良生産地であることを再認識し、水稲との兼業を推進しながら最盛期に近い生産高に回復するよう務めます。ほだ木の調達に関しては、合併した利点を最大限に活用し、佐渡全島の原木情報交換システムを確立し、容易に入手できるよう体制を整えます。また、他の林産物においても県やJA・森林組合と連携して生産から販売までの流通経路を確立し、ブランド化できる商品を開拓し、林業経営による収入の増大を図ります。



しいたけのほだ場

多様な森林効果の啓発

森林浴や森林レクの関心が高まる中、里山の森林を心の安らぐ空間となるような公園として整備します。また、地球温暖化防止循環型社会の形成、廃棄物等の抑制が求められる中で、化石燃料に替わる環境に与える負荷の少ない木材等のバイオマスの有効活用を目指し、木質資源を木質ペレットとして活用するシステムを構築します。

本来の森林の役割を改めて認識し、山のもつ多様性を十分に発揮できるよう地域住民と協力し森林整備を進めことを通して山や森や木に関心が持てるよう啓発します。

水産業の振興

【現 状】

佐渡市の水産業・漁村は、「新鮮で安全な水産物」を安定的に供給する役割と、自然環境の保全、親水空間、海洋性レクリエーションなどの多様な機能を通じて「やすらぎとおいしい場」を提供する役割を担っています。

しかしながら、水産業を取り巻く情勢は、水産資源水準の低下や国際的な漁業規制の強化による漁業生産量の減少、輸入水産物の増加等による魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化など大変厳しい状況にあります。特に生産量の減少については、資源状況を無視した漁獲など資源水準の低下が大きな要因と考えられます。

また、就業者の年齢構成は、高齢化が進んでいるとともに、生産量の減少、魚価の低迷などにより漁家の経営は悪化し、漁協組織も脆弱化しています。

一方、漁村は、地域住民にとって大切な生活の場であると同時に、自然環境の保全、遊漁や海水浴、ダイビングなどおいしい空間の提供、文化・伝統の継承などの多様な機能を有しています。

主要魚種別漁業生産量（佐渡地区）

（単位：トン）

年	いか類	あじ類	ぶり類	貝類	かに類	ほっけ類	たら類	かれい類	その他	計
H 6	3,459	695	898	638	953	848	750	227	3,508	11,976
H 7	3,535	471	1,870	627	1,048	771	683	218	2,778	12,001
H 8	3,457	2,127	1,837	562	829	547	511	208	23,962	34,040
H 9	3,186	4,000	1,068	581	810	630	510	217	14,720	25,722
H10	1,958	3,246	1,756	694	837	547	485	209	20,470	30,202
H11	2,728	1,923	1,056	728	959	407	391	206	21,736	30,134
H12	2,010	2,327	1,713	723	902	381	379	237	8,097	16,769
H13	2,183	1,827	1,204	669	858	221	356	266	5,130	12,714
H14	1,780	651	1,141	674	700	256	275	269	2,898	8,644
H15	1,780	975	789	717	589	333	296	270	3,043	8,792

出典：新潟県農林水産統計年報

年齢階層別就業者数（佐渡地区）

（単位：人）

年	合計	男性					女性
		小計	15～24	25～39	40～59	60歳以上	
平成 5 年	2,451	2,318	10	187	946	1,175	133
(構成比)	100.0%	94.6%	0.4%	7.6%	38.6%	47.9%	5.4%
平成 10 年	2,144	2,017	15	97	687	1,218	127
(構成比)	100.0%	94.1%	0.7%	4.5%	32.0%	56.8%	5.9%
平成 15 年	1,946	1,834	16	56	591	1,171	112
(構成比)	100.0%	94.2%	0.8%	2.9%	30.4%	60.2%	5.8%

出典：第 9 ～ 11 次漁業センサス

【課題】

- つくり・育て・管理する漁業の推進
- 佐渡産水産物供給体制の整備と収益性の高い漁業経営の確立
- 漁業担い手の確保・育成
- 役割に応じた漁港の効率的な整備
- 水産業・漁村が有する多面的機能の維持・保全

【振興方針】

- つくり・育て・管理する漁業の推進
- 資源の増大と持続的利用を図るため、有用魚種の種苗放流を推進する「つくる漁業（栽培漁業）」、稚魚などの成育の場である藻場や漁場を整備する「育てる漁業（漁場造成）」、資源を適正に保存管理し持続的に利用する「管理する漁業（資源管理型漁業）」を連携させた「つくり・育て・管理する漁業」を推進します。
- 佐渡産水産物供給体制の整備と収益性の高い漁業経営の確立
- 「新鮮で安全な水産物」を安定的に供給していくための体制を整備します。
- 佐渡産水産物の価格形成力を強化するため、冷凍保存施設等の導入を検討し、供給

体制の整備や水産物のブランド化を推進し、有利販売を促進します。

さらに、漁業経営の強化のため、漁協組織の強化や漁業者の協業化を推進します。

漁業担い手の確保・育成

収益性の高い漁業経営の実現や担い手の確保・育成するため、漁業生産の主体である中核的漁業に新たに就業する者の技術研修等を推進します。また、人材の育成・活用を図るため、地域漁業のリーダーとなる漁業士の育成や女性の漁協役員への登用等を促進します。

役割に応じた漁港の効率的な整備

漁港の機能と漁港間の役割分担を明確にし、それぞれの役割や機能に応じた効率的な施設整備を推進します。また、沿岸域の環境や漁場保全などに配慮した漁港と漁場の一体的な施設整備を行います。

水産業・漁村が有する多面的機能の維持・保全

水産業・漁村が有している多面的機能が発揮されるよう、水域環境の保全、都市と漁村の交流促進、住みよい漁村の整備、漁港海岸の保全・環境整備のほか、「やすらぎとうるおいの場」を提供するための取り組みも実施します。

さらに海洋深層水の利活用の促進に取り組みます。



まぐろの水揚げ

(2) 商業の振興

【現 状】

本市の商業集積地としての中心市街地の現況は、少子高齢化等による島内人口の減少や島内交通網の整備進展に伴い、主要道路沿線への郊外型大型店の出店や競合等の影響を受けて、近年商店街の中に空き店舗が増加傾向にあります。

中心市街地の商店街においては、顧客獲得に向けた努力や集客イベント事業に取り組む事例が見られる一方で、業況の悪化や経営者の高齢化、後継者不足などから、商業地域全体の活力の衰退が見受けられます。

このような中で、中心市街地の活性化に向け、空き店舗を有効活用した対策や癒しの空間としてのポケットパーク整備など市民、商工会、行政が一体となった取り組みを図っています。

【課題】

魅力ある中心市街地（商業地）の活性化対策
経営の安定化と新たな賑わいを創り出す機能の充実
新たな流通システム育成をめざした IT 産業の促進

【振興方針】

魅力ある中心市街地（商業地）の活性化対策

中心市街地の拠点商店街に安全で快適な商業空間の創出を推進するため、駐車場の整備や潤いとやすらぎスペースの設置、高齢者にやさしいバリアフリー化等、商業基盤施設の整備を促進し、商店街の活性化を推進します。

また、観光や豊かな自然資源、地域資源を活用した回遊性の高い商業環境の整備を図りながら、個性のある地域の特性を生かした魅力ある商店街づくりを促進します。

経営の安定化と新たな賑わいを創り出す機能の充実

商業振興には、商業者自らの経営改善、経営近代化への主体的な取り組みが最も重要であります。厳しい経済環境に対応できる経営基盤の確立を図るため、市の融資制度の充実に努めるとともに、商工会と連携した経営指導体制の強化、消費動向に対応した対策を講じ、商業の経営体質強化を図ります。

また、街づくり組織の育成や TMO 活動に対する助言と支援を推進し、各種イベントなどと連携した交流を通じた集客への取り組みを図り、新たな賑わいを創り出す活性化策に取り組みます。

新たな流通システム育成をめざした IT 産業の促進

消費者の新しいライフスタイルとニーズの多様化への対応を図るため、佐渡市、商工会並びに関係する経済団体のネットワークの構築を図り、佐渡ブランドの創出をめざします。そして、都市等、中心となる経済市場から場所的・時間的な隔たりのある佐渡市からインターネットを積極的に活用した Web サイト（仮想商店街）を設置し、共同利用が可能な佐渡ブランドの産品、物産販売システムサイトを商工団体や産業団体等と連携する中から構築を図り、大消費地への市場開拓を推進します。



商店街集客イベント（リョウツ・デ・フェスタ）

(3) 工業の振興

【現 状】

本市の工業製品出荷額は506億円となっており、その主なるものは電気機械（部品を含む）や食料品などです。（表3）

1工場当たり従業者数は県平均の15.0人であるのに対し、佐渡市では11.0人となっていて（表1）平均としては中小企業が多い中で、超小型精密部品を製造している企業の中には従業員500名以上の企業もあります。また、事業所は377あり、業種別に多い事業所は、食料品、木材などとなっています。（表2）

高度経済成長時代に工場の地方分散と農村の雇用機会の創出の必要から、昭和46年に「農村地域工業導入促進法」が制定され、この法律を受け佐渡に於いても6地区の農村地域工業等導入実施計画を策定、導入地区以外も含め当時は数十社の企業進出を見ました。

現在は、インターネットを始めとするブロードバンド（高速・広帯域電気通信）ネットワークの普及、国際的な企業競争の強化、製品寿命の短命化、戦略的なロジスティクスの徹底など、企業のビジネス環境は激変しています。このような企業のビジネス環境の変化をよく捉えた「新しい企業誘致策の推進」こそ今、本市がなすべき急務と言えます。

また、新しい企業を創造したり、世界に通用する製品を開発したり、国際的競争の中で企業経営を行っていくには、並外れた知恵と行動力を持った人材が必要になっています。このような人材を育成する土壌と基盤を持つことが、本市が発展していく何よりの条件と言えます。

ロジスティクス

原材料調達から生産、販売に至るまでの物流を企業が合理化するための手段。

【課 題】

技術者の養成、招致により競争力の高い企業の育成、支援
成長企業の積極的誘致

【振興方針】

技術者の養成、招致により、競争力の高い企業の育成支援

新潟県職業能力開発課や職業訓練機関、商工会、関係業界との連携を強化し、産業の活性化を担う人材の育成を図り、技術革新に対応できる職業能力と産業技術の取得に努めるとともに、公共職業安定所や労働基準監督署との連携を密にし、技術者の就業を支援することで、付加価値の高い商品を開発し競争力の高い企業の育成、支援を図ります。

成長企業の積極的誘致

工場用地と労働力の確保を図る方策を関係機関と連携して推進するとともに、企業誘致支援措置を強化し、成長産業であるIT産業やコンテンツ産業の積極的な誘致を進め、地域産業の強化と地域活性化を図ります。

表1 製造業の生産性

(単位:人・百万円)

調査年	1工場当り 従業者数		1工場当り 製造品出荷額		従業員1人当り 製造品出荷額	
	佐 渡	県平均	佐 渡	県平均	佐 渡	県平均
平成 13 年	11.02	15.04	145.4	265.62	13.19	17.65

工業統計調査

表2 業種別事業所数

(単位:箇所)

調査年	食料	木材	窯業	出版 印刷	輸送 用機 械	電気 機械	衣服	金属 製品	家具	その 他(織 維等)	計
平成 13 年	98	51	35	26	8	15	18	13	10	63	337

工業統計調査

表3 産業別製造品出荷額

(単位:百万円)

調査年	食料	木材	窯業	出版 印刷	輸送 用機 械	電気 機械	衣服	金属 製品	家具	その 他(織 維等)	計
平成 13 年	8,295	957	5,840	801	288	14,226	1,190	884	284	17,886	50,651

工業統計調査

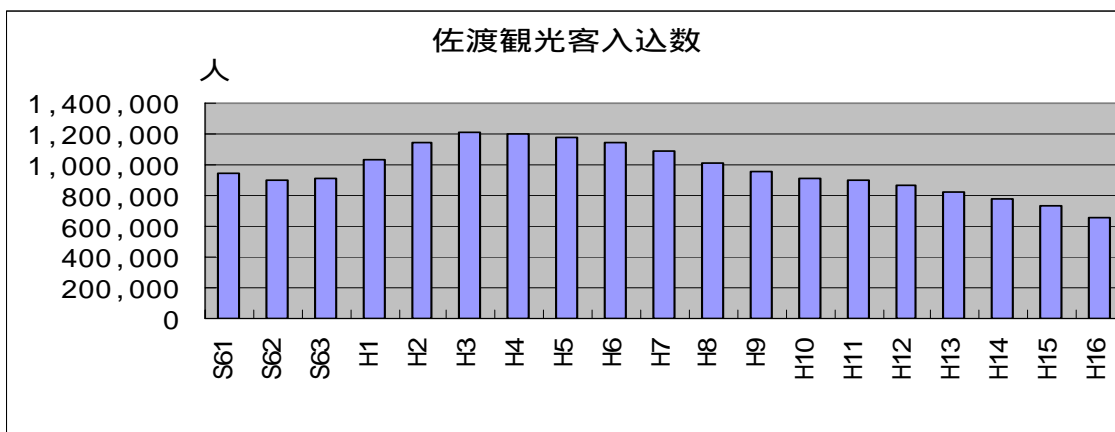
(4) 観光産業の振興

【現 状】

佐渡は、豊かな自然や薫り高い文化が集積し、多くの観光資源に恵まれていますが、観光客の入込み数は平成3年の121万人をピークに減少し続けています。

その原因の一つとして、人々のライフスタイルや価値観の変化から旅行形態が団体旅行から個人やグループ旅行に変化してきたことに十分対応出来なかったこと、また、海路に頼らざるを得ない佐渡観光において、経済距離の長さからくるハンディを克服するような「スペシャリティ」を打ち出せなかったこと、全島あげての一丸となった観光客へのサービスが行われてこなかったことなどがあげられます。

このことから、本市の観光振興には個人のライフスタイルや価値観を把握した上で、潜在的なニーズを探り、本市独自のポテンシャルを活かした、新たな観光施策の樹立が求められています。



資料提供：佐渡観光協会

目的別観光客延べ人数

(単位：人)

	景勝地	史跡	観光施設	海水浴場
平成 12 年度	880,570	905,780	1,129,580	248,790
平成 13 年度	838,360	878,570	1,107,040	199,850
平成 14 年度	783,970	813,630	997,150	123,580
平成 15 年度	743,040	752,920	999,160	96,130
平成 16 年度	611,400	581,580	808,550	127,620

資料：佐渡市

【課題】

一丸となった観光振興策の立案と推進（計画の実行に向けて、リーダーシップを持って推進する体制と予算の裏づけ）

競合する観光地に負けない佐渡としての「スペシャリティ」の明確化と徹底した広報・PR施策（徹底した差別化により、違いを打ち出した食事メニュー）

個人客、グループ客に対するきめ細かな情報提供及び、もてなしサービスの充実（情報案内所機能の高度化、観光ポータルサイトの構築、従業員研修）

体験滞在型観光地づくりへの取り組み

観光宣伝の強化（効果的な情報発信と誘客宣伝活動）

島内自然環境の保全（廃自動車等のゴミの撤去、美しい海岸線の維持、登山道、遊歩道の整備など）

佐渡までのアクセスの改善と島内公共交通機関の利便性の向上

【振興方針】

一丸となった観光振興策の立案と推進体制の確立

中・長期の行動戦略計画の策定

・佐渡の観光の「量」と「質」の現状を明らかにし、観光の「質」を高めるための観光施策の指針となる基本計画の策定をします。

観光協会の体質強化の促進

- ・観光協会を佐渡観光の中核的な団体として位置づけ、強力なリーダーシップを発揮できるよう、その法人化を促すなど、体質強化を促進するとともに、柔軟かつ適切な運営が行われるよう指導・助言を行います。

「スペシャリティ」を打ち出した観光資源開発

地域資源を活かした旅行商品化への取り組み

- ・佐渡百選に代表される自然・歴史文化・郷土芸能・地場産品などの地域資源の中から競合観光地に負けない特別な旅行商品づくりを支援します。
 - ・地元食材でしか提供できないようなユニークな食サービスと宿泊をセットにした魅力ある旅行商品の企画開発を進めます。
 - ・トキ野生復帰やエコアイランド構想など、本市のプロジェクトと一体化した参加、体験型、地域ふれあい型の旅行商品づくりを促進します。
- ホスピタリティの醸成と人に優しい観光地づくり
- ・佐渡観光のセールスポイントとして人の温かみをアピールするため、観光産業に従事する人々に対する佐渡らしいホスピタリティの教育・醸成を図ります。

また、「観光」に直接関係のない島民も観光客を暖かく迎えることができるようガイド・案内機能の充実を図ります。

地域ぐるみの受入環境づくり

- ・地域住民に対し、観光客の来訪による経済的、文化的好影響の理解を広め、島ぐるみでもてなす協力体制をつくります。
- ・地域資源や伝統芸能を活かしたイベントを、集客効果のある観光イベントとして定着させます。

個人客、グループ客に対するきめ細やかな情報提供と、もてなしサービスの充実。

観光情報案内機能の充実

- ・インターネットやモバイルを活用し、いつでもどこでも必要な情報を必要な形で受け取ることが可能となる情報提供手段の確立とともに、多機能情報案内所を新設します。

個人客・グループ客へのサービス対応の充実

- ・観光事業者に対し、個人客・グループ客に対する宿泊施設の整備や従業員の温かい「おもてなし」によるサービス対応の改善を図ります。

体験滞在型観光地づくりへの取り組み

- ・「癒しの島佐渡」の余暇を提供するため、地域資源を活かした体験学習等のメニューを整備し、修学旅行や個人客の誘致を図るとともにリピート率向上に努めます。

観光宣伝活動の強化

個人客・団体客に対する宣伝対象の絞込み

- ・宣伝対象を絞り込み、誘客可能性に応じた集中的 PR を行います。

島民コネクションの活用

- ・佐渡人会や島内出身者のコネクションを活用して、誘客宣伝活動をより積極的に行います。

島民向け観光情報提供の充実

- ・地域住民の観光施策に関する理解を深めるような情報発信に努めます。
イベント開催による集客力の強化
- ・誘客強化を図るため、イベント実施の情報を早めに発信し、旅行会社の商品造成を促進します。
島内自然環境の保全（廃自動車等のごみの撤去、美しい海岸線の維持、登山道、遊歩道の整備など）
花の島プロジェクトの推進
- ・トビシマカンゾウ増殖事業、山野草の保護活動など観光客を巻き込んだプロジェクトとして推進します。
環境保護活動と観光の連携
- ・島内自然環境の保護と交流人口の拡大を図るため、エコツーリズムを推進します。
佐渡までのアクセスの改善と島内公共交通機関の利便性の向上
トータル交通コストの縮減
- ・海上交通コストの低減と島内交通コストの削減と利便性を図り、価格競争力のある企画商品の開発を進めます。
島内交通ホスピタリティの向上
- ・観光案内レベルの向上に向けた検定資格制度の導入を図ります。
佐渡らしい道路標識、観光案内板の整備
- ・道路標識や観光案内板には、佐渡らしさを活かした工夫と外国語表示により、外国人が一人で歩ける観光地づくりを推進します。



大野亀とカンゾウ



国際的和太鼓集団 「鼓童」



相川京町音頭流し「宵の舞」

(5) 新たな産業の育成

【現 状】

新たな資源として注目される「海洋深層水」は、平成 16 年から多田漁港で分水が始まっており、平成 17 年度には、多田地区に製塩工場、ポトリング工場が進出し営業を始めています。この他、酒、味噌、パン、そば、豆腐への利用や、魚介類の蓄養や保冷、アワビの種苗生産への応用を試みています。

また、農産物の加工による付加価値販売では柿、梅、キウイフルーツ等でおこなわれているがいずれも零細であり、生産量も少ないため販路拡大が図れないでいます。

【課 題】

「海洋深層水」の有効利活用を通しての企業誘致や「佐渡ブランド」新製品の開発
佐渡の自然、農林水産物を活用した新産業、新製品開発の推進

【振興方針】

「海洋深層水」の有効利活用を通しての企業誘致や「佐渡ブランド」新製品の開発
「海洋深層水」の有効利活用、新用途開拓による新産業の創出と企業の誘致により、雇用の拡大による地域活性化を図ります。

佐渡の自然、農林水産物を活用した新産業、新製品開発の推進

農業等生産物の六次産業化を中心とした新たな産業を創造し、地域の雇用の場の拡大と所得の増大を確保するとともに、佐渡の自然環境を利用した風力発電、バイオマスエネルギー等の開発の可能性について探求します。



佐渡海洋深層水分水施設

(6) 地域振興拠点の整備

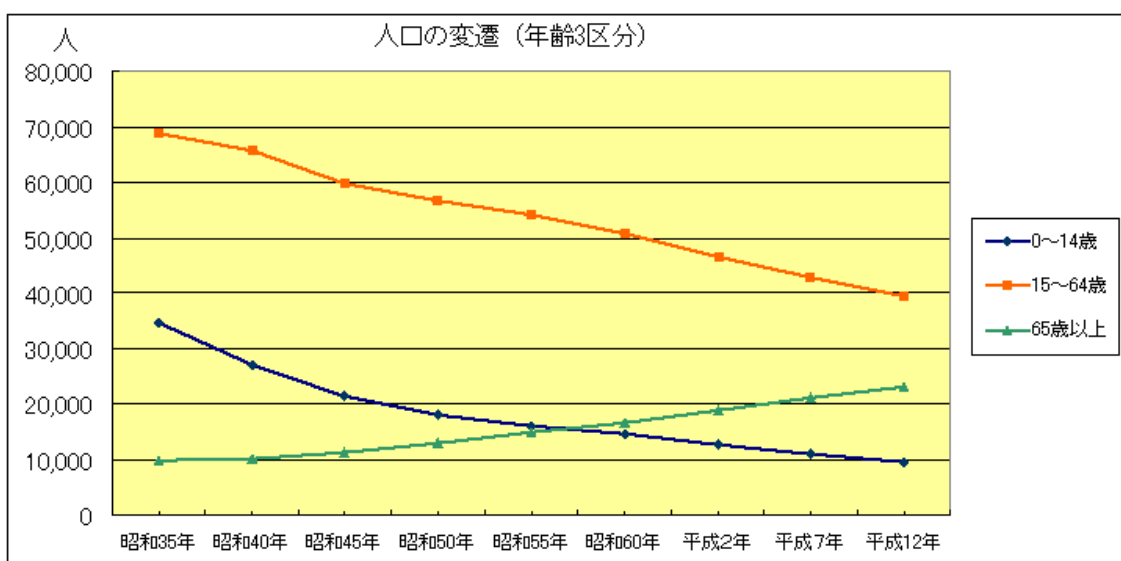
【現 状】

本市全域が過疎地域になっているが、地域的には市の周辺部や山間地域から若者を中心に、国中地域への人口移動が進んでいる。このため、周辺過疎地域では、郷土芸能の伝承や共同作業ができないなどの、集落機能の低下が進んでいます。

しかし、このような地域は豊かな自然が織りなす風光明媚な景観地や心温まる伝統文化・芸能が息づいています。

また、当市においては周辺地域ばかりでなく、中心市街地においても空き家、空き店舗、廃校など遊休施設が散在しています。

佐渡市の人口



(参考資料：平成12年国勢調査)

【課 題】

地域の特性を活かした物流、観光、交流等の拠点整備
若者定住の条件整備促進と就業機会の創出
都市の定年退職者の定住や期間滞在の促進

【振興方針】

地域の特性を活かした物流、観光、交流等の拠点整備

豊かな自然や伝統文化等地域の特性を活かして、観光施設等の整備や都市との交流を促進し、地域の活性化を図ります。

若者定住の条件整備促進と就業機会の創出

若者定住を推進するため、計画的な生活環境の整備を進めるとともに、地域特性を活かした就業機会の創出、空き店舗、廃校などを利用した研修機関の整備等に取り組みます。

都市の定年退職者の定住や期間滞在の促進

団塊の世代を始めとするU・Iターン者の受け入れを促進するため、空き家情報等を発信し定住を図り、人口増による地元経済へ貢献だけでなく、高齢者の知識、経験、趣味、価値観などを通して地域住民への好影響を期待します。



若者による鬼太鼓